令和6年7月16日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展「高山植物~高嶺の花たちの多様性と生命のつながり~」 開催および報道内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館(館長:篠田 謙一) は、2024(令和6)年7月30日(火)から11月4日(月・休)までの期間、下記のとおり、企画展「高山植物~高嶺の花たちの多様性と生命のつながり~」を開催いたします。また、本展の開幕に先立ち7月29日(月)17時30分から19時の間、別添のとおり報道内覧会を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

夏山を彩る高山植物たちの多様な形態や生態、そのほかの生き物との繋がりなどを、科学的な知見とともに、数多くの標本資料などで紹介します。また、高山植物の危機的な現状や保全の取り組みなどについても解説します。迫力の映像や臨場感のある展示会場で、高山植物の多様性を知り、その魅力を体感してください。

広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。



コマクサ (写真:国立科学博物館)

記

【企画展名称】企画展「高山植物~高嶺の花たちの多様性と生命のつながり~」

【開催場所】国立科学博物館(東京・上野公園) 日本館1階企画展示室および中央ホール(~9月1日)

【開催期間】2024(令和6)年7月30日(火)~11月4日(月・休)

【開館時間】9時~17時

※8月10日(土)~8月15日(木)は18時まで ※入館は各閉館時刻の30分前まで

【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)

※ただし8月5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)、10月7日(月)は開館

【入 館 料】一般・大学生:630円(団体510円)、高校生以下および65歳以上:無料

※本展は常設展示入館料のみでご覧いただけます ※団体は20名以上

※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください

https://www.kahaku.go.jp/

【主 催】国立科学博物館

【協 賛】モンベル

【協 カ】岩手大学農学部附属農業教育資料館、環境省、市立大町山岳博物館、須川長之助顕彰会、 長野県環境保全研究所、日本植物園協会、白馬館、白馬五竜高山植物園、北海道大学植 物園・博物館、北海道大学大学文書館、郵政博物館

【展 示 概 要】別添の本展チラシ参照

【お 問 合 せ】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL: 03-5814-9840, 9883, 9887 FAX: 03-5814-9898 E-mail:kikakuten@kahaku.go.jp

独立行政法人国立科学博物館

企画展

「高山植物〜高嶺の花たちの多様性と生命のつながり〜」 報道内覧会のお知らせ

2024 (令和 6) 年 7 月 29 日 (月) 17 時 30 分~/国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「高山植物~高嶺の花たちの多様性と生命のつながり~」の開幕 に先立ち、下記のとおり報道内覧会を実施いたします。

当日は、本展監修者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸甚です。

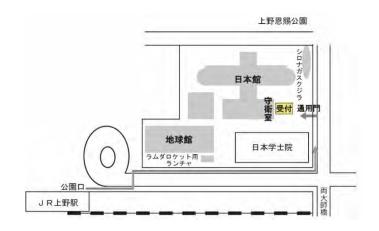
記

【日 時】 2024(令和 6)年7月29日(月) 17時30分~19時(受付開始 17時~)

【会 場】 国立科学博物館(東京都台東区上野公園 7-20) 日本館1階 企画展示室および中央ホール

【受付場所】 日本館1階守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください

【アクセス】 JR上野駅公園口から徒歩5分 東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口から徒歩10分 京成電鉄京成上野駅から徒歩10分 ※駐車場及び駐輪場の用意はございません



【当日のスケジュール】

17 時~ 受付開始(受付場所:日本館1階守衛室前)

17 時 30 分~19 時 報道内覧会

※17 時 30 分から約 30 分間、本展の監修をした国立科学博物館の研究者が展示解説を行い、 皆様からのご質問にお答えします

【お申込み方法】

報道内覧会に参加を希望される方は 7 月 25 日 (木) 17 時まで に、以下必要事項を記載の上、 国立科学博物館企画展担当 kikakuten@kahaku.go.jp あてメールにてお申込みください。

- 件名:企画展「高山植物」報道内覧会申込
- ・お名前
- ・ご所属
- 緊急連絡先(携帯電話番号)
- ・メールアドレス

※代表者の方がまとめてお申込みをされる場合も、すべての参加希望者について、 上記の必要事項をご記入願います。

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします (概ね3日以内にお返事します)。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。

※いただいた個人情報は、報道内覧会以外の連絡には使用しません 厳重に管理し、報道内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします

【本展監修者】



植物研究部 多様性解析・保全グループ 研究主幹 村井 良徳(むらい よしのり)

専門分野は植物科学、化学生態学、環境適応学。主に高山植物について、化学成分の多様性や機能、環境適応機構などについて研究を行っています。また、標本資料センターのコレクションマネージャーも兼務し、筑波実験植物園では収集した 100 種以上の高山植物を栽培しながら、絶滅危惧種の栽培・増殖方法の開発など生育域外保全にも取り組んでいます。

【お問合せ・お申込み先】

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9840, 9883, 9887 FAX:03-5814-9898 E-mail:<u>kikakuten@kahaku.go.jp</u>

広 報 用 写 真 提 供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの「各種手続き・報道関係資料」→「写真の貸出」からお申込みできます。 (https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html)



①企画展「高山植物~高嶺の花たちの 多様性と生命のつながり~」ポスター①



②企画展「高山植物~高嶺の花たちの 多様性と生命のつながり~」ポスター②



③コマクサ (写真:国立科学博物館)



④ハヤチネウスユキソウ (写真:国立科学博物館)



⑤キタダケソウ (写真:国立科学博物館)



⑥ツクモグサ (写真:国立科学博物館)



⑦ボンボリトウヒレン (写真:国立科学博物館)



⑧ウルップソウ (写真:国立科学博物館)

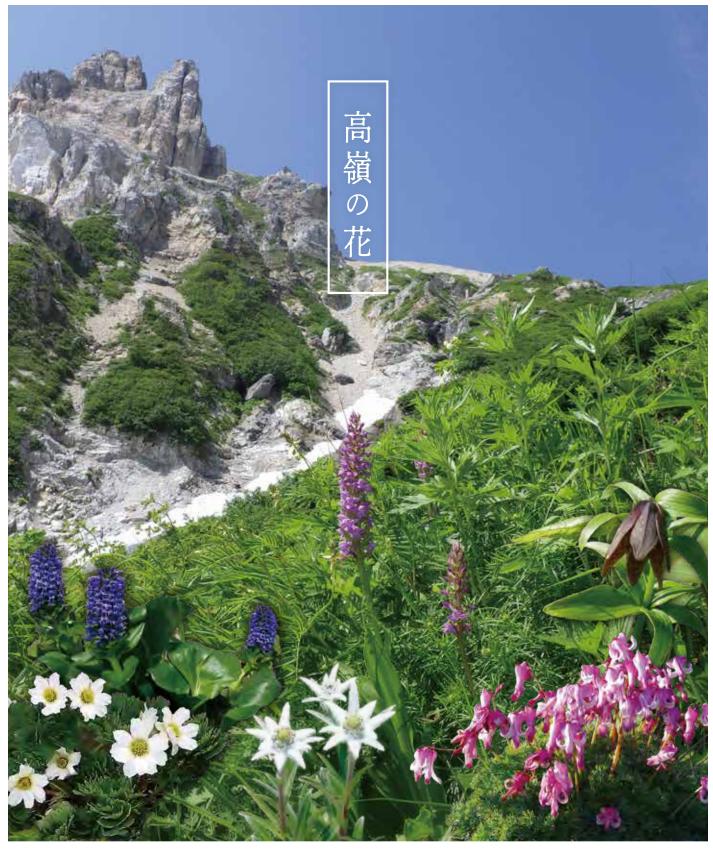
【記事利用の際のお願い】

- *写真使用は本展の紹介目的のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- *写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。 *記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は、確認のため、 下記担当まで校正原稿をお送りください。
- *ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

電話 03-5814-9840, 9883, 9887 FAX 03-5814-9898

E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20



高嶺の花たちの多様性と生命のつながり

The Diversity and Ecosystems of Flowers Beyond Reach.

国立科学博物館_(東京·上野公園)

日本館1階企画展示室および中央ホール(~9月1日) National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)





\$ 7/300~ II/48

開館時間 / 9 時~17 時 ※入館は閉館時刻の 30 分前まで ※8月10日(土)~8月15日(木)は18時まで

休 館 日/月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日) ※ただし8月5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)、10月7日(月)は開館

入 館 料/一般・大学生 630 円(団体 510 円) ※常設展示入館料のみでご覧いただけます ※団体は20名以上 ※高校生以下および65歳以上は無料

主 催/国立科学博物館

協 賛/モンベル

お問い合わせ/ TEL:050-5541-8600(ハローダイヤル) FAX:03-5814-9898 https://www.kahaku.go.jp/ 章

夏山を彩る高山植物たちの多様な形態や生態、そのほかの生き物 との繋がりなどを、科学的な知見とともに、数多くの標本資料な どで紹介します。また、高山植物の危機的な現状や保全の取り組み などについても解説します。迫力の映像や臨場感のある展示会場で、 高山植物の多様性を知り、その魅力を体感してください。

はじめに、高山植物の特徴について、 形態や生態などを紹介します。きびしい高山環境で

生きる植物たちは、さまざまな生存戦略を発達させながら環境に 適応しています。さらに高山植物は、高山生態系において重要な 位置にあり、その例についても紹介します。

Chapter 01

高

植

章

三章

日本列島は南北に長く、さらに起伏に富みます。 さまざまな気候が存在し、実に多種多様な植物が分布 しています。そのなかでも、本州中部から北海道にか けては、高山植物の生育する地域が、まるで島のよう に点在しています。また、特殊な地質の地域には、 そこにしか生育しない固有種も多く見られ、 日本の高山植物の多様性をより豊かなもの にしています。

Chapter 02

高山植物に関する研究について、日本での初期の研究に関わった 人物や代表的な山岳地域などを中心に紹介します。貴重な 標本や資料、写真などをご覧ください。さらに近年、 高山植物の多様性を知るための研究は、大きく進展して きているため、その研究成果や新たな取り組みなどに

ついても紹介します。

Chapter 03

現 様

高山植物の素晴らしい多様性は、

大変な危機に瀕しています。気候変動の影

響により高山植生にはすでに変化が起こっています。

シカの食害によりお花畑が消失した場所も多くあります。このよう な状況に対して自生地では、植生の保護や回復のための試みが行わ れています。また、筑波実験植物園などでは、絶滅危惧種を中心に、 自生地外での保全が進められています。

Chapter 04



本展で高山植物を知っていただいたら、ぜひ観察 をしに出かけてみましょう。国内で高山植物が観察 できるおすすめスポットをいくつか紹介します。ま た、海外にまで足をのばすと、日本では見ることの できない奇想天外な高山植物も楽しめます。さらに、 植物観察の際に注意したい点なども紹介します。高 山植物をさまざまな角度からお楽しみください。

Chapter 05

イベント情報

特別トークショー第1回 10:30-11:30

特別トークショー第2回 10:30-11:30

企画展 関連講演会 13:30-15:30

高山植物の多様性と 保全について

尾関 雅章 (長野県環境保全研究所)

村井 良徳 (国立科学博物館)

生物多様性に関する

国際動向と高山生態系

浜 一朗 (環境省) 村井 良徳 (国立科学博物館)

村井 良徳 (国立科学博物館) 岩手大学農学部附属農業教育資料館

環境省

市立大町山岳博物館 須川長之助顕彰会

童

長野県環境保全研究所 日本植物園協会

白馬五竜高山植物園 北海道大学植物園・博物館 北海道大学大学文書館

几

章

「上野駅」公園口から徒歩5分 ●東京メトロ 銀座線・日比谷線 「上野駅」7番出口から徒歩10分 ●京成電鉄

「京成上野駅」正面口から徒歩10分 ※当館には駐車場および駐輪場はございません。



〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20 TEL: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

FAX: 03-5814-9898 https://www.kahaku.go.jp/







ライチョウと国立公園

※詳細はホームページをご覧ください

村井 良徳 (国立科学博物館)

野川 裕史 (環境省)

小林 篤 (環境省)

下野 綾子 (東邦大学)

特別トークショー第3回 13:30-14:30

森川 政人 (環境省)

ALPINE

The Diversity and Ecosystems of Flowers Beyond Reach

National Museum of Nature and Science

PLANTS



2024.7.30(火)-11.4(月·休)

国立科学博物館(東京・上野公園)

日本館1階企画展示室および中央ホール (~9月1日) National Museum of Nature and Science / Ueno Park, Tokyo

開館時間:9時~17時 ※入館は閉館時刻の30分前まで ※8月10日(土)~8月15日(木)は18時まで

休館日:月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日) ※ただし8月5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)・10月7日(月)は開館

入館料:一般・大学生 630 円(団体 510 円) ※常設展示入館料のみでご覧いただけます ※団体は 20 名以上 ※高校生以下および 65 歳以上は無料

主催:国立科学博物館 協賛:モンベル

お問い合わせ TEL: 050-5541-8600(ハローダイヤル) FAX: 03-5814-9898 https://www.kahaku.go.jp/



企画展

髙Ш植物

高嶺の花たちの多様性と生命のつながり